



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

義務教育は「無償」が原則 学校給食費の無償化を

春日部市は今年の12月と来
年1月、小中学校の給食費が
無償になります。今年度は4
月、5月も国の交付金を活用
して学校給食費無償化が実施
されました。

市議会でも学校給食費無償
化を求める意見書や請願が繰
り返し採択されています。期
間を区切った無償化でなく、
「義務教育無償」の一環とし
て完全無償化とすべきです。

県内16市町村が 完全無償化に

埼玉県内では下記の16市町

小中学校で完全無償化 (16自治体)

北本市、所沢市、坂戸市、
秩父市、日高町、毛呂山
町、越生町、滑川町、小
鹿野町、鳩山町、横瀬町、
皆野町、長瀬町、美里町、
神川町、東秩父村

村で学校給食の完全無償化が
実施されています。

春日部市では、多子世帯
(小中学校に3人以上在学し
ている世帯)の3子目以降は
無償ですが、対象となるのは
ほんのわずかです。「完全無
償化」については、本来、国
の制度として実施されるべき

であり、他の子育て支援策も
実施していることから、限ら
れた財源の中で優先順位を見
定めていきたい、との考えで
す。

国は「26年度小学校 で無償化」実施を!

「義務教育無償」の原則か
ら学校給食費についても本来
であれば国の制度として実施
されるべきで、自治体の財政
力によって差があるべきでは
ありません。

今年2月に自民・公明・維
新は給食無償化について合意
し、26年度に小学校から開始
し、中学校でもできる限り速
やかに始めるとしました。こ
れを受けて石破首相も「給食
無償化につきましては、まず
は小学校を念頭に、地方の実
情等も踏まえ令和8年度に実
現する」と国会で表明しまし
た。しかし、制度設計につい

ては一向に示されず、政権が
流動化する中で26年度からの
実施が不安視されています。

市として実施できる 財源はあります

物価高騰が続く中、学校給
食費無償化の願いはますます
切実です。

国に対して「国の制度とし
て実施を」と強く求めつつ、
市として実施に踏み出すべき
です。春日部市で小中学校の
給食費完全無償化に必要な財
源は、年間6億円余りです。
市の一般会計決算では毎年多
額の使い残り(黒字)があり、
財源は十分確保できます。

過去5年間の黒字額

2020年	32億円
2021年	49億円
2022年	38億円
2023年	24億円
2024年	32億円



リサイクルショップ 廃止移転について市との懇談会を実施

10月10日、心身障害者通所施設リサイクルショップの廃止・移転・統合についての懇談会が藤塚公民館でおこなわれました。

利用者家族とかすかべ生活と健康を守る会(生健会)が呼びかけ、12名が参加し、市からは福祉部長、障害者支援課長と職員2名が参加しました。木下議員と元市議会議員のうづき武彦さんが傍聴しました。

通所施設移転計画 反対意見を反映せず

令和7年3月の個別施設計画で、リサイクルショップは現在の樋堀地域から庄和地域へ移転することが決定しました。

しかしこの計画案は令和6年12月まで保護者に事前相談がなく、2月6日までおこなわれたパブリックコメントは22件提出され、移転反対の意見が多数でしたが、市はこれらの意見を全く反映しませんでした。

移転に納得できない 市民が要望書提出

9月2日、利用者家族と生健会は、市に要望書を提出し誠意ある回答と懇談会の開催を求めました。

要望事項は①移転の際の当事者リスク対応②自力の通所が困難な場所に移転する理由③通いながれた場所での社会の一員として生きていきたいが現在の場所ではない理由

けない理由

課長は回答を読み上げ「障害の特性による環境の変化については社協職員への聞き取りなどおこない十分認識している。公共施設マネジメント計画との整合性、施設の適正配置・職員の効果的な配置でより良い福祉サービスの向上を図るために計画した」と答えました。また福祉部長からは「利用者を守り、継続していくために福祉の統合化となった。一緒に考えていたという感覚ではあったが、理解してほしいという思いで説明を続けてきた」と話しました。

反対意見ばかりのパブコメ 何故計画を進めるのか

参加者からは、「移動手段は決定していないということだが、事業者

が手を引いた時にはどう対応するのか」

「何度も同じ答え。具体的な進捗も知らされない」

「パブコメは反対意見ばかりだったのに廃止で進んでいることはおかしいと思う。パブコメの意味は何ですか」

「自力では通えない場所だし、自力で通うことも自立や社会参加になることをわかってほしい」

「計画が正しいのか、立ち止まって検討してほしい」

「計画を策定する際には利用者を通じて話し合うべき」

「自立感や地域で生きる実感は施設をまとめるということだけでなく、小さい所があることにあることに良さがあるのではないか、市はもう一度考えて欲しい」など

次々と声があがりましたが市の答えは変わらず、最後まで回答を繰り返しました。

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

10/19(日) 内科系 春日部厚生病院(緑町6-11-48) ☎736-1155 小児科系 岡田医院

(一ノ割2-6-21) ☎735-7848 外科系 彩都レディースクリニック(大枝366) ☎731-1103

10/26(日) 内科系 大川医院(備後西3-1-5) ☎734-3121 小児科系 おかだこどもの森クリニック

(藤塚1225) ☎745-7722 外科系 南桜井ばば眼科(大倉496-14ヤオコー南桜井店2階) ☎718-0111